

博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	医療福祉経営学分野
学籍番号		院生氏名	松村 耕平
通学キャンパス			
論文題目	原発事故における病院避難の在り方に関する考察		
審査結果(枠で囲む)	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 合格 不合格 </div>		
<p><審査結果の要旨></p> <p>1. 主論文について</p> <p>1) 研究の概要</p> <p>東日本大震災における東京電力福島第一原子力発電所の事故発生時の経験から、今後同じ問題を繰り返さないための方法を明らかにしたもの。具体的には類似の事故発生時、原子力発電所近くにある医療機関の人々を放射線プルームによる被曝をできるだけ避けて避難させる方法を示している。独自に実施した7つの医療機関へのアンケートやその他の膨大な本事故の資料を用いて、放射性プルームの移動経路の推定を行い、実際の避難経路に問題があったことを示した。その結果から、放射性物質の空中への排出状況と風向、風速をモニターすることにより、放射性プルームの位置を推定し、避難する人達にどの経路で避難すべきか、室内で退避すべきかなどの指示を避難する人達に伝えることと、これが複合災害時でもできるような備えが重要であることを明らかにしている。</p> <p>2) 研究方法</p> <p>本学の倫理審査の承認を受けたうえで実施された。(14-Ig-10 と 14-Ig-87)</p> <p>膨大な資料から、関連する部分を引用して、結論を適切に導いている。</p> <p>3) 知見の新規性と価値</p> <p>原子力発電所の事故発生時にまず行うべき大気中に放出された放射線物質からの防護が、避難すべき場所にある医療機関において、実際の事故発生時に適切に行われていたかについて、放射性プルームの動きの推定と、本事故での医療機関の避難の状況から、問題があることを明らかにし、今後の対応策について示したことは説得力のある知見と評価できる。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>審査会は2回開催した。そこで論文の構成や目的、結論の導き方が不適切であるなどが指摘され、2回論文の修正を求めた。期日までに修正された論文が提出され、その修正論文を元に審査員で最終の審査を行い、ほぼ適切に修正が行われていることを確認した。</p> <p>3. 口頭試問</p> <p>口頭試問においては適切に応答した。</p> <p>4. 合否</p> <p>以上の結果から、審査会の審査員全員は総合的に見て本論文が著者に博士(医療福祉経営学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主 査	勝俣 健一郎	
	副 査	水巻 中正	
	副 査	荒木田 美香子	